

令和8年度 第1回 都田中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月20日（水） 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 都田中学校 被服室
- 3 出席委員 太田 宜克、太田 和宏、前田 龍慧、森上 茂美、袴田 裕幸、  
下村 優子、高須 里美、野末 将秀、松原 寛樹
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 宮本 明浩（都田協働センター所長）
- 6 学 校 生熊 和広（校長）、服部 将剛（教頭）、尾田 由利恵（教務）、  
鈴木 貞良（教諭）、丹所 宏貴（教諭）、佐野 道弘（教諭）、  
桑原 恵実（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 桑原 恵実
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、太田和宏委員から太田宜克委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された太田宜克委員から、太田和宏委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長 の 選 出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、高須委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協 議 事 項

- （1）令和8年度都田中学校学校運営基本方針の確認
- （2）令和8年度都田中学校各学年の目標及び現状等
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書

12 会 議 記 録

司会の高須委員から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和8年度都田中学校学校運営基本方針の確認

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

（2）令和8年度都田中学校各学年の目標及び現状等

議長の指示により、学校から、別紙資料に基づき都田中学校各学年の目標及び現状について説明があった。その後、各学年主任から学年の様子について報告があった。

・3年生

一言で表すと「楽しいことをするのではなく、することを楽しむ学年」。修学旅行のグループ分けやタクシー研修では、自由は自分の思い通りになるわけではない、自由はいかに難しいかを学んだのではないか。楽しみすぎて時間を守れなかったり、人の話を聞けなかったりするの、修学旅行では、時間を守ることを課題とした。1日目の朝は集合時間を守れなかったが、2日目3日目とだんだん時間を守れるようになり、最後は先生からの声掛けがなくても、自分たちで時間を守ることができた。成長を感

じる3日間だった。

進路については、出前授業などを通して意識が高まってきている。自学自習ができるようにし、学年で勉強の雰囲気を高めていく。

毎日を充実して過ごし、泣ける卒業式を迎えられるようにしたい。

#### ・2年生

素直で協力性のある学年だが、たくましさや欠けるところがある。キャリア教育に力を入れて、社会をたくましく生き抜く力を身につけさせたい。そのために、多くの人と関わる機会を作りいろいろなことを学んでいければと思っている。

6月にwazaチャレンジ(県の事業)、7月に御殿場での野外活動、10月は職場体験、2月には体育館で立志式のようなものを予定している。

生徒数の少ない学校だが、部活動で素晴らしい成績を出している。素直さを上手に育てていけば、すごい力を持っているのではないかと思う。中だるみの2年生にはしたくない。

#### ・1年生

大きなトラブルもなく、充実した学校生活を送れている。多くの生徒が部活に入部し、上級生と共に活動している。

長野県飯田市の中学生と交流活動の一環であるりんご並木の講話を受け、意欲を示している。

小学校から生活が変わり、疲れが出てくるころではあるが、様子をよくみてやっていきたい。

#### ・5組

持ち前の明るさと元気さで活動している。学校全体で生徒のことをみているため、多くの先生とつながりができていることが都田中学校ならではの。

校外学習や天白祭の時に、5組の生徒が作った物を販売できるようにがんばっていく。

#### ・生徒指導

去年と比べて、自転車事故が減少している。これからも呼びかけをしていく。

不登校の生徒が減少傾向にある。小学校の時に登校が難しかった子も、新しい環境でがんばっている。各学年に不登校傾向の生徒がいるので、学校、学びの教室など社会との関わりが持てるようにサポートしていく。落ち着いてはいるが、自分からあいさつができなかったり、コミュニケーションが苦手だったりする生徒がいる。教員が率先してあいさつをしていけたら。

委員からは以下の発言があった。

- ・いじめの実態は。いじめが原因の不登校はあるか。いじめは生徒からの報告があるのか。(野末委員)
- ・昨年の認知は10件以下。重い事案ではなく、同級生同士の軽はずみな悪口、冷やかに傷ついたというのがほとんど。不登校の原因は浜松市の特徴として、意欲の低下、目的意識が持てないというのが増えている。年5回のアンケートや毎日の日記の中で担任に相談してくれるケースが多い。(学校)
- ・あいさつができない背景、要員は。(松原委員)
- ・コロナの影響や、昔と比べて不審者対策としてあいさつしない雰囲気になっているところがある。高いところを求める教員と生徒とのギャップ。生徒本人はあいさつができていると思っている。(学校)
- ・部活がない日の対策は。(前田委員)
- ・協働センターでボランティアとして手伝いをするなど、興味のあることが地域のいろんなところでできるようになっていくといい。(学校)
- ・頼りになる6年生が、中学3年間でさらに大人になっていくことに感動した。(森上委員)
- ・カタカナに()で日本語の意味を書いた方がいいのではないか。ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)など。(袴田委員)

- ・地域として何ができるかを考えているが、なかなか浮かばないので、学校からしてほしいことを言って欲しい。それがうまく回って地域で何かできていければいい。(下村委員)
- ・笑顔はタダでできる素敵なこと。笑顔でマイナスになることはない。あいさつはすごく大切だと思っている。(高須委員)
- ・子どもは少し高い目標を実現させることで成長する。年間計画で上手なプレッシャーのかけ方をしていると感心した。  
地域クラブはどのぐらいあるのか。(和宏委員)
- ・2年生の保護者が動き始めたところ。男女テニス、バレー。陸上など話が出ている。(学校)
- ・ラーケーションが始まり利用できない家族があるなど格差があると思うが、学校の対応は。(宜克委員)  
ラーケーションで休んだと学校から子どもたちに言うことはない。周りは普通の休みだと思うかもしれないし、子どもが自分で報告をするかもしれない。まだ始まったばかりなので今後の課題。(学校)
- ・ジュニア防災士養成講座とは。(宜克委員)
- ・防災に関する正しい知識を身につけ、防災リーダーを育成することを目的としている。(学校)

### (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書

浜松市から6万円の予算をもらっており、学習に関する支援に対する謝礼等に使用する予定。

### その他連絡事項

学校より、次回会議は、令和8年11月16日(月)14:30から被服室で開催する旨の報告があった。